令和２年度第２回自転車等駐車対策協議会議事録

１　開催日時　令和２年９月７日（月曜日）午後２時～午後３時30分

２　開催場所　市役所３階　301、302会議室

３　出席者

【会　長】	中部大学　工学部都市建設工学科教授	磯部　友彦
【委　員】	国土交通省　名古屋国道事務所　事業対策官	岩田　成人
	愛知県春日井警察署　交通課長	前田　健策
	愛知県自転車モーター商協同組合	
	春日井支部　副支部長	安藤　公一
	かすがい女性連盟　会計	石原　美恵子
	春日井市区長町内会長連合会　副会長	松本　伸雄
	春日井商工会議所　専務理事	山田　真平
	民間自転車預かり所　代表	近藤　浩
	春日井市建設部　道路課　課長	苅谷　健生
	春日井市総務部市民安全課　主幹	落合　邦和
	春日井市教育委員会事務局　学校教育課　課長	大城　達也
【事務局】	春日井市まちづくり推進部　部長	大島　常生
	春日井市建設部次長兼まちづくり推進部　次長	堀尾　朋宏
	春日井市まちづくり推進部都市政策課	
	課長	森　浩之
	課長補佐	三浦　晶史
	課長補佐	松浦　武幸
	主査	長谷川　正孝
	主任	深谷　祐也
	技師	林　早帆

４　議題

⑴　　協議事項　自転車活用推進計画について

５　会議資料

・令和２年度第２回自転車等駐車対策協議会次第
・令和２年度第２回自転車等駐車対策協議会配席図
・春日井市自転車等駐車対策協議会名簿
・資料1　　自転車活用推進計画について
・資料2　　自転車ネットワークの設定について
・資料3　　計画目標と施策体系について

６　議事内容

⑴　　協議事項　自転車活用推進計画について

【事務局　長谷川】

資料１について説明を行った。

【磯部会長】

委員に事務局の説明に対する意見を求めた。

【石原委員】

上位関連計画との連動や、他の計画との関連が分かり易くて良い。環境基本計画の配慮すべきキーワードと具体的な施策で、レンタサイクルを例にすると、いま何台くらい設置されていてどのような利用状況かという具体的な事も記載して欲しい。

【磯部会長】

今の意見は基礎データとなるところなので、本編ではなく資料編などで整理しておいた方が良い。

【安藤委員】

春日井市の現状からＩｏＴを導入したレンタサイクルや、観光事業と連動させるような事業は現実性があるのか疑問に思う。計画は実行性があるものを記載する方が良い。

【事務局　三浦】

現状のレンタサイクル事業は、ＩｏＴではないが、いま全国的にシェアサイクルが始まっているので、将来的に、ＩｏＴと関連付けてシェアサイクルの導入の可否を、今後の検討の一つとして考えている。

【磯部会長】

国全体の方針と春日井市の現状にギャップがあると思うので、しっかり把握しておくというのは大事である。全国的に見れば色々な方法論があって、必要か否かは地域によって違うと考える。春日井市として何が必要かということを考えしっかりと把握して、春日井市らしい方針をまとめて欲しい。

【落合委員】

27 ページの活用推進に向けた目標の、自転車事故を減少させるための安全利用環境づくりについては、自転車事故を減少させるのは大事なことであるが、これに特化せずに、利便性や、円滑性、快適性など、表現の仕方を検討して欲しい。

【苅谷委員】

自転車活用推進計画の目的として、車が多い所、人が多い所など現状把握が第一に必要だと考える。例えば、交通量調査等を用いて人の流れを把握した上で、工場や高校などの通勤通学ルートを踏まえたネットワークを考える必要がある。

次の段階として、その道路に自転車通行帯を作る時に、どういった形態のものが作れるのか、道路の現状把握が必要で、歩道の幅員やどれだけ路肩がとれているかなど現状把握も踏まえて考えていかなければならない。

最後に、通勤ルートだけでなく、市の施設、特に植物園や、今度整備する朝宮公園でなど、人が来てほしい施設へのネットワーク、道路を使って駅から来てもらう、健康のために作るルートも考えていくと、市の魅力アップにもつながるのではないかと考える。

【事務局　三浦】

交通量調査は重要だと考えているが、今回、新型コロナウィルスの影響により、現実的に路線の調査というのができなかった。ネットワーク調査の方で、自転車が多く通る路線についても整理をしているので、資料２で説明する。

【事務局　長谷川】

資料２について説明を行った。

【磯部会長】

委員に事務局の説明に対する意見を求めた。

【岩田委員】

幅員３ｍで区切っている根拠を教えてほしい。区切っている理由を明記できるのであれば明記した方が良い。また、自転車利用の周知が想定されるエリアで、名鉄春日井駅東エリアに通学と勝川駅とあるが、勝川駅というのはどういう意味合いがあるのか教えて欲しい。最後に、国道 19 号は事故が多いということでネットワークの対象路線にしているが、対人なのか、対自動車なのか、その辺を見極めて整備形態に反映してほしいと考える。

【事務局　三浦】

３ｍ以上の道路という記載について、前回の資料で道路区別の分けをしたものが残っていたため、削除する。また、名鉄春日井駅の東エリアの中に黒文字で勝川駅と記載されていることについては、勝川駅へのアクセス経路という意味合いであり、JR 勝川駅の有料駐輪場に関する定期券利用者の方の調査を行ったところ、名鉄春日井駅の東エリアにおいても利用が多くみられたため記載をしているものである。

【松本委員】
通学路安全対策で、高蔵寺中学校や高蔵寺駅周辺を一律500ｍといしているが、この考えは、中学校の周りに通学自転車がいっぱい集まるので、安全対策をするということか。
【事務局　三浦】
そう考えている。
【磯部会長】
地域によっては形が真円ではないところや、学区によっても自転車の使い方が違うと考える。実態をベースにして積み上げた考えなのか、最低限これくらいは言えるだろうということで積み上げていったものなのか、どちらの論理で記述しているか分かるようにしてほしい。
【安藤委員】
19 ページにある整備対象候補路線の抽出イメージの黒線で示された路線に、先程の映像で走行していた路線は入っているか。
【事務局　森】
整備対象候補路線に入っており、映像の詳細な場所については、初めの路線がＪＲ春日井駅から市役所方面の県道一宮春日井線を通るルートであり、２つ目の路線が、春日井駅の東側から北進する路線の都市計画道路下原線、３つ目の路線が、国道 19 号線を走行した映像である。
【安藤委員】
入っているのであれば、映像を見たところ、現状以上に何かやれることがあるのか。
【磯部会長】
映像の下原線を見ると、自転車道として整備された安全な場所が、未整備の交差点部などの場所につながっていると、かえって危険になる場合があるため対策が必要と考える。
【安藤委員】
資料の１で高齢者が死亡事故につながる状況が多くなるということだったが、高齢者も対象に自転車ネットワークに組み込むという方法を考えているのか。また、一人住まいなどで外とのつながりがほとんど無い方や、自転車保険も入れない方、できれば乗らない方が良い方もいる中、その方たちも対象としたネットワークに組み込むことも考えているのか。
【事務局　三浦】
高齢者の方だけを特別視しているわけではないが、買い物に行かれる方には高齢者の方も含まれると考える。また、ネットワーク路線を選定する上で、高齢者の事故状況も含めた計画としている。
【安藤委員】
10 月から 70 才以上の方にヘルメット着用を薦めるという条例ができたが、そのような事も含めて考えているのか。

【磯部会長】
市民一人一人にとって安全な自転車利用の仕方がベースにあるはずなので、自転車を使う時に注意することを全て網羅し、この計画の中で整理していくことが必要である。
【山田委員】
自転車ネットワークの考え方自体は、共通の何か考えや全国的に統一した見解があって設定をされたものなのか、それとも春日井市独自で設定したものなのか。他の地域でもこのような設定がされているものなのか。
【事務局　三浦】
他市町村の自転車活用推進計画では、最終的な計画が掲載されているだけで、それまでの過程というのは、公表されていない。18 ページのところに基本的な考えを記載しており、ご意見をいただきながら加味していきたい。自転車利用者の時間別の特徴について説明をしたが、商業施設は営業時間が長く、顧客が様々な時間帯に来客するイメージがあり、駅を使う利用者や学校の通学者は、ある程度決まった時間に、まとまって利用される。そのように集中する状況は個々によって違ってくるため、必要に応じて狭い道路においても面的に捉えて整備していかなければならないと考える。
【山田委員】
このような設定を市で行うということは、ある程度結論まで誘導されてしまう可能性もあるため、何か共通の方法で検討するのが良いのではないかと考える。
【石原委員】
ネットワークというと、インターネットを使った情報を取り入れた交通網にしていく、ということなのかと思った。市民にもわかりやすく説明していただきたい。資料１の 27 ページの基本理念のところに、利用したくなる安全な自転車空間と記載されており、ネットワークとは別の言葉があり、自転車利用における走り方やルールなどが入ってくると思うが、もう少し用語についても精査してわかりやすく表現してほしい。
また、資料２の 19 ページのところで、モデル地域の設定について方向性を示されたが、この計画を出される時に、一つだけでも出せそうなのかどうか見通しを伺いたい。
【事務局　三浦】
わかりにくい表現に関しては、巻末参考資料で説明するなど工夫する。モデル地域の設定については、まずはモデル区間を整備して、効果の検証を行いながら展開をしていきたいと考えている。また、モデル区間の選定については、道路管理者や関係者の方と協議をして決めていきたい。
【磯部会長】
ネットワークという言葉は網という意味を表しており、道路ネットワーク・交通ネットワークのように表現される。石原委員の発言のように、これからインターネットの時代なので、先ほどのＩｏＴの話もあり、インターネットと絡めた内容も必要かもしれない。自動車だとカーナビなどで混雑状況もわかるので、自転車利用についてもいろいろな情報があるとより安全性が高まるかもしれない。

【石原委員】
インターネットを使いすぎて、Uber Eats のように事故を起こしている人もいる。
【磯部会長】
ネットワーク網を設定しても実際に自転車は違う路線を通ることもあり、どのように安全性を保っていくのかというところが重要である。ネットワーク網では何が大事なのか、そうでない所では何が大事なのか、この両方をうまく整理してほしい。
【事務局】
了解した。

【事務局　長谷川】
資料３について説明を行った。

【磯部会長】
委員に事務局の説明に対する意見を求めた。
【安藤委員】
「はしる」以外の施策について、今まで対策していることではないか。それにプラスして何かするのか。
【磯部会長】
今までの施策が良かったのかどうか、更新できるのかどうか、今までの施策が限度なのか、これらの点について調査を行い、数値目標を設定するとよい。
【落合委員】
事故の減少や、交通安全教室の実施回数、放置自転車台数を設定しているが、これをもって活用が推進されたとは言い難いため、成果指標に自転車の活用が推進されたことがわかる指標を何か入れた方が良いのではないか。例えば、自動車通勤をやめて自転車で通うようになったなどを示せるようなものがあれば入れた方が良いと思う。その方が実際の計画に即しているのではないかと考える。
【事務局】
各委員の意見を踏まえて検討する。

(2)　その他

【事務局　長谷川】
今後のスケジュールについて説明を行った。
（特に意見なし）

上記のとおり令和２年度第２回春日井市自転車等駐車対策協議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及び出席者１人が署名及び押印する。

令和２年 10 月 19 日

会　長　磯部　友彦

署名人　前田　健策